

第1回四国中央市総合計画審議部会
議事要旨

1. 日 時 平成30年8月23日(木) 午前10時00分開会
午前11時40分閉会

2. 場 所 四国中央市役所 4階 会議室西

3. 出席者 委員

高橋厚徳、矢野 強、篠原 晃、石黒忠則、鈴木千明、森川啓子、今村八千代
オブザーバー

尾崎誠貴氏(瀬戸中央テック協同組合 参与)

高橋和雄氏(医療法人 健康会本部 総務部長)

内藤寛子氏(公益社団法人 法皇青年会議所 副理事長)

4. 欠席者 なし

5. 傍聴者 なし

6. 次第及び決定事項

次 第	決定事項
1. 開会	
2. 政策部長あいさつ	
3. 出席者紹介	
4. 部会長・副部会長の選出及び就任あいさつ	・高橋部会長、石黒副部会長を選出
5. 議 事 (1) 第二次総合計画後期基本計画(素案)の検討 ①四国中央市の人手不足の現状と課題について ②外国人が暮らしやすいまちづくりについて ③女性や高齢者が活躍できるまちづくりについて ④その他について (2) 次回審議部会の開催について	
6. 閉会	

7. 委員意見要旨

事務局及び オブザーバー から説明	<p>①四国中央市の人手不足の現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国中央市の人口推計等について（事務局） ・外国人の雇用者と在留外国人の状況について（尾崎氏） ・福祉・介護現場における人手不足と外国人の雇用の現状（高橋氏） ・女性の活躍推進（内藤氏）
意見交換 委員	<p>②外国人が暮らしやすいまちづくりについて</p> <p>知り合いの外国人に聞いた話として、市内には娯楽施設が少ない。若い外国人にとって遊び場所がないところは、住みにくいと感じている。</p>
委員	<p>外国人が住みやすい町は、我々日本人にとっても住みやすい町であり、外国人が困っていることは、同じく我々も困っていることであろうと思う。</p>
委員	<p>市内の道路標識を見ると、外国語表記が少ない。外国人を増やすのであれば、外国人が見やすい標識を準備していく必要がある。</p>
委員	<p>実習生が学んできた日本語と四国中央市の方言が違うということについて、四国中央市の方言をまとめた本が図書館にある。問題点を発信し、横のつながりを作れば、外国人にとって不便なことが解消できることもあるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>外国人への日本語学習支援の現状は、特別な資格はないが、愛媛大学等で受講した方等がボランティアで、マンツーマンに近い形で支援しており、平成 29 年度は 872 回開催されている。</p>
委員	<p>外国語表記については、全て 5 か国語で表示できるのが理想だが、外国人の受入人数が変動していくため、全ての言語に対応するのは難しい。日本語の指導要領においては、やさしい日本語を理解してもらうことに重点を置き実施しているので、外国人と話す際には、基本的には理解しやすいやさしい日本語を使うことが重要である。ゴミの分別等については、ベトナムと中国語は対応、防災体験も外国語対応となっている。</p>
委員	<p>Wi-Fi について、図書館ではインターネットが、新庁舎の市民交流棟では Wi-Fi が使用できるようなる。</p>
委員	<p>外国人向けでなくてもいろんな団体で、核になる人がいる。ALT は 2 年で、国際交流員もころころ代わるため、情報が広がらない。四国中央市で核となる外国人に長く居てもらうことが重要である。</p>
委員	<p>自分が勤めている会社でも外国人を雇用している。受け入れ初期と比べると大きく変化しており、携帯電話が最たるものである。スマートフォンで言葉の壁をなくせるのではないかと思う。何に困っているのか、当人に聞くことが大切だと思う。</p>
委員	<p>市報は外国人に配付されていないのであれば、インターネット上で外国語版ができればよい。</p>
意見交換 委員	<p>③女性や高齢者が活躍できるまちづくりについて</p> <p>女性にとっては、出産が大きなポイントになる。男性の育休取得や企業の女性の働き方については、企業への働きかけが大切である。おむつ支給も助かるが、産む前に産もうと思える政策も必要と思う。</p>

委員	子育てしやすい環境づくりが大切である。また、都会の大学へ進学した後、四国中央市へ帰って来ない人が多いので、帰ってきやすい環境づくりも必要。企業の努力によるところだが、育児休暇等の待遇が重要になる。
委員	高齢でも本人の希望により、自分の力を発揮できるところに出ていけるとよい。大きな病院等では、案内をしてくれるような人がいる。そういったボランティアを外国人にもできたらよい、それを高齢者に募ってもよいのではないかと。